

# VMware vSAN: Troubleshooting (VMware vSAN : トラブルシューティング)

## コースについて

この2日間コースでは、VMware vSAN™ 7の実装におけるトラブルシューティングに必要なツールとスキルについて学習します。インストラクターが指導するアクティビティとハンズオン ラボによる実習を通じて、vSAN のトラブルシューティングの概念を体験できます。

## コースの目標

このコースを修了すると、次のことができるようになります。

- vSAN のアーキテクチャ コンポーネントとその役割を理解する
- コンポーネントの相互の関係について理解する
- オブジェクトとコンポーネントの状態の違いについて理解する
- Skyline Health を使用した障害状況の調査と判別方法を理解する
- コマンドライン ツールを使用した障害状況の判別方法を理解する

## 対象者

vSAN を使用した Software-Defined Storage の最初に行うトラブルシューティング手順を身に付けたいストレージ管理者と仮想インフラストラクチャ管理者

## 前提条件

受講者は、次のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- 「[VMware vSphere: Install, Configure, Manage \(VMware vSphere : インストール、構成、管理\)](#)」コースの内容を理解している
- 「[VMware vSAN: Deploy and Manage \(VMware vSAN : 導入と管理\)](#)」コースを修了している、または vSAN で同等の経験がある
- CLI を使用した実務経験がある

このコースの内容は、受講生が以下の作業を支援や指導なしで実行できることを前提としています。

- VMware vSphere® Client™ を日常的に運用する
- データセンター、クラスター、ホスト、仮想マシンなどの VMware vCenter Server® オブジェクトを作成して管理する
- 標準スイッチを作成および変更する
- 分散スイッチを変更する
- VMware vSphere® VMFS データストアを作成する
- ウィザードまたはテンプレートを使用して仮想マシンを作成する
- VMware vSphere® vMotion® および VMware vSphere® Storage vMotion® を使用して仮想マシンを移行する

上記すべての作業を1人で実行できない場合は、先に「[VMware vSphere: Install, Configure, Manage \(VMware vSphere : インストール、構成、管理\)](#)」および「[VMware vSAN: Deploy and Manage \(VMware vSAN : 導入と管理\)](#)」コースを受講してから「VMware vSAN: Troubleshooting (VMware vSAN : トラブルシューティング)」に登録されることをおすすめします。

## 受講方法

- 教室開催
- ライブ オンライン
- [オンサイト トレーニング](#)

## 使用製品

- VMware ESXi™ 7
- VMware vCenter Server 7
- VMware vSAN 7

## コースのモジュール

- 1 コースについて
  - 概要およびコースの流れ
  - コースの目標
- 2 vSAN のアーキテクチャ
  - vSAN のアーキテクチャとコンポーネントについて理解する
  - ポリシーに基づいたオブジェクト ベースの vSAN ストレージ環境について理解する
  - CLOM、DOM、LSOM、CMMDS、RDT vSAN ソフトウェア コンポーネントについて理解する
  - オブジェクトとコンポーネントの関係について理解する
  - 特定のストレージ ポリシーがコンポーネントにどのように影響するかについて理解する
  - コンポーネントの配置について理解する
- 3 **トラブルシューティングの手法**
  - 体系的なアプローチを使用して、構成と運用に関する問題を解決する
  - トラブルシューティングの手法を適用して、障害を論理的に診断し、トラブルシューティングの効率性を最適化する
- 4 **トラブルシューティングのツール**
  - VMware Skyline Health と関連サービスについて理解する
  - VMware Skyline Health を使用した VMware vSAN の問題の特定と修正方法を理解する
  - vSAN Health のオンライン情報をもとに問題を解決する
  - vsantop を使用して vSAN パフォーマンス メトリックを表示する
  - vCenter Server と ESXi コマンドラインからのコマンド実行の方法を理解する
  - VMware ESXi Shell のアクセス方法を理解する
  - コマンドを使用して、vSphere 環境を表示、構成、および管理する
  - esxcli vsan ネームスペース コマンドについて理解する
  - Ruby vSphere Console (RVC) コマンドの使用タイミングを理解する
  - vSAN のトラブルシューティングに役立つログ ファイルを確認する
  - ログ ファイルを使用して vSAN のトラブルシューティングを行う

## お問い合わせ

このコースに関するご質問や登録方法については、[japan-education@vmware.com](mailto:japan-education@vmware.com) までお問い合わせください。



ヴェイムウェア株式会社 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 13F [www.vmware.com/jp](http://www.vmware.com/jp)

© 2020 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品またはワークショップ資料は、米国および国際的著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware 製品は、<https://www.vmware.com/jp/download/patents.html> のリストに表示されている 1 件または複数の特許対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

VMware は、一般的に認められている業界基準と慣例を使用して妥当な方法で、ここで記載されているワークショップ サービスを提供することを保証します。上記明示保証は、VMware が提供するサービスおよび成果物、ならびにそれらのサービスおよび成果物から得られる結果に関する、明示、黙示、法定、その他のあらゆる保証（商品性に対する黙示保証および特定目的に対する適合性の黙示保証を含みます）に代わるものです。VMware は、お客様に対して特定または参照した、いかなる第三者のサービスまたは製品に対しても責任を負いません。本ワークショップにおいて提供される資料（以下「ワークショップ資料」といいます）の著作権は VMware に帰属します。VMware は、お客様が許諾を受けた VMware 製品についての社内での理解、利用、運用を促進する目的に厳格に本ワークショップのお客様にワークショップ資料の使用および合理的な範囲でコピーを作成することを許諾します。前述の明示された場合を除き、本ワークショップの条件の下で許諾された知的財産権およびその他のいかなる許諾された権利を他者に譲渡することを禁止します。米国内のお客様の場合、サービスに関する VMware の契約当事者は、VMware, Inc. になります。米国外のお客様の場合、サービスに関する VMware の契約当事者は、VMware International Limited になります。

VMware SKU: EDU-VSANT7-OE Rev. E:2020/06 J:2020/07